保存版

富士川 逃げどきマップ

（富士川洪水ハザードマップ）

Fuji City Flood（Fuji River）Hazard Map

富士川逃げどきマップについて

近年、想定を超える大雨による浸水被害が発生していることから、富士川の管理者である国土交通省が**想定される最大規模の降雨**（富士川下流域で 48 時間雨量 565 ミリ）により、富士川が氾濫した場合の洪水浸水想定区域図を作成しました。

このマップは、上記の洪水浸水想定区域等を示すとともに、市民の皆さんが自分の命を守るため、**いつ、どこに、どのように避難するかを事前に考えていただくためのもの**です。

マップを使い、自宅の大雨時の危険性を確認し、いざというときの避難方法について決めておきましょう。

■富士川・潤井川・沼川・小潤井川の最大規模降雨による洪水浸水想定区域の確認方法
ふじタウンマップ検索後、「防災マップ」をクリックして下さい。

ふじタウンマップ

令和２年４月作成

お問い合わせ先

富士市　建設部　河川課　TEL．0545−55−2833（富士市消防防災庁舎５階）
　　総務部　防災危機管理課　TEL．0545−55−2715（富士市消防防災庁舎３階）

近年の浸水被害状況

近年は、地球温暖化などの影響により、これまでに経験していないような、台風や降雨が発生し、全国で甚大な洪水や浸水被害が発生しています。

●平成 30 年 7 月豪雨（西日本豪雨）

気象概要	・台風7号や梅雨前線により、西日本を中心に北海道から中部地方を含む全国的に広い範囲で記録的な降雨が発生		
	・高知県安芸郡馬路村では総雨量が1652.5ミリ、岐阜県郡上市で1214.5ミリを観測したほか、多くの観測地点で48時間や72時間雨量が観測史上最大値を更新		
浸水被害	・死亡者		237名
	・住宅被害	全壊	6,767棟
		半壊	11,243棟
		床上浸水	7,173棟
		床下浸水	21,296棟

※平成 31 年 1 月 9 日現在（内閣府発表）

小田川の破堤により、岡山県倉敷市真備地区が浸水した状況　（出典：国土交通省）

●令和元年東日本台風（台風 19 号）

気象概要	・台風19号は、10月12日に大型で強い勢力を保ちながら伊豆半島に上陸し、関東地方・東北地方を縦断		
	・観測甲信越地方と神奈川県の17地点で総雨量が500mmを超え、神奈川県箱根町では942.5mm/24時間雨量を観測		
浸水被害	・死亡者		99名
	・住宅被害	全壊	3,280棟
		半壊	29,638棟
		床上浸水	7,837棟
		床下浸水	23,092棟

※令和２年２月 12 日現在（内閣府発表）

千曲川の破堤により、長野市赤沼地先が浸水した状況　（出典：国土地理院）

ハード対策に絶対はありません

雨の降り方が変わりつつある今、ハード対策（堤防の整備など）のみで十分とは言い切れません。

富士川においてもハード対策を上回る雨が降った場合、上記の写真や下図のような被害が発生する恐れがあります。市民の皆さんが自ら危険性を認識し、適切な避難行動をとること（ソフト対策）が大切です。

●マイタイムラインを作って大雨に備えましょう！

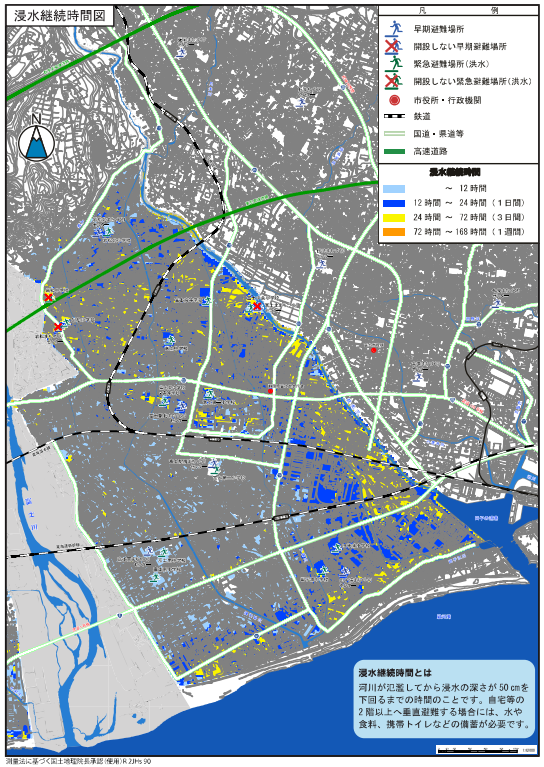
マイタイムラインとは？

河川の氾濫は、突然発生する地震とは違い、雨の降り方や河川の水位の上昇などの情報を確認することで、氾濫の危険性をあらかじめ察知することができます。

また、過去の豪雨災害において、逃げ遅れて救助された住民は、「避難しようと思ったら、既に家の周りが浸水していて避難できない状況だった」と証言しています。

マイタイムラインとは、いざというときにタイミングを逃すことなく安全に避難できるよう、一人ひとりが避難に備えた行動をあらかじめ決めておくためのものです。

あなた自身と大切な家族を守るため、雨の降り方や河川の水位、避難情報を基に、**「いつ、どこに、どのような手段で避難するか」**を、次のステップ１からステップ３までのマイタイムラインの作成を通して決めておきましょう！



測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 2JHs 90

避難を判断するための情報と収集先

避難するかどうか判断するためには、各機関から発信される情報を自ら収集することが大切です。川の水位や雨の降り方、避難についての情報は、様々な手段で収集できますので、その方法を確認しておきましょう。

川の防災情報
国土交通省が運営する川の防災情報では、雨量・水位・ライブカメラなどが確認できます。

SAIPOS−RADAR
静岡県が運営するサイポスレーダーでは、県内の雨量や河川の水位などが確認できます。

気象庁
気象庁から発表される注意報・警報・台風情報などが確認できます。

富士市メールサービス（同報無線情報）
同報無線の内容をメール配信します。右記二次元バーコードを読み込むか、t−fuji@sg−m.jp に空メールを送信し、メール登録（無料）を行ってください。

富士市防災ラジオ

同報無線の放送内容を聞くことができるほかに、一般のラジオ放送も聞くことができます。

ラジオエフ（FM84.4）
Radio 84.4FM
ラジオエフ（FM84.4）では富士市に密着した災害情報を入手できます。

テレビによる情報収集
テレビのリモコンにあるボタンを押すと、気象情報のほか、市から発信する避難情報や開設されている避難場所などが確認できます。

避難場所　一覧

早期避難場所

台風の接近や大雨により、市内に災害が発生する可能性がある場合に、**風雨が強くなる前の早い段階で**、地区まちづくりセンターが「早期避難場所」として開設されます。

施設名	住所	富士川	潤井川	小潤井川	沼川
吉原 まちづくりセンター	高嶋町 6−3	− m	0.3 m	1.0 m	− m
伝法 まちづくりセンター	伝法 2743−2	− m	− m	− m	− m
今泉 まちづくりセンター	今泉 1−12−37	− m	− m	− m	− m
青葉台 まちづくりセンター	一色 288−4	− m	− m	− m	− m
吉永 まちづくりセンター	比奈 1447−1	− m	− m	− m	− m
元吉原 まちづくりセンター	大野新田 744−2	− m	− m	− m	− m
須津 まちづくりセンター	中里 1143−1	− m	− m	− m	− m
浮島 まちづくりセンター	西船津 215−2	− m	− m	− m	− m
原田 まちづくりセンター	原田 485	− m	− m	− m	− m
富士見台 まちづくりセンター	富士見台 6−1	− m	− m	− m	− m
神戸 まちづくりセンター	三ツ沢 600−1	− m	− m	− m	− m
吉永北 まちづくりセンター	福無ケ瀬 162−1	− m	− m	− m	− m
大淵 まちづくりセンター	大淵 2885−4	− m	− m	− m	− m
富士駅北 まちづくりセンター	平垣本町 6−13	1.5 m	− m	− m	− m
富士駅西 まちづくりセンター	蓼前 1−4−15	0.7 m	− m	− m	− m
田子浦 まちづくりセンター	中丸 202	2.7 m	0.4 m	− m	− m
富士南 まちづくりセンター	森下 52−1	1.3 m	− m	− m	− m
岩松北 まちづくりセンター	岩本 88−1	2.4 m	− m	− m	− m
富士川 まちづくりセンター	岩淵 121	− m	− m	− m	− m
松野 まちづくりセンター	南松野 792−2	− m	− m	− m	− m
鷹岡 まちづくりセンター	久沢 836−1	− m	− m	− m	− m
広見 まちづくりセンター	石脇 470−5	− m	− m	− m	− m
天間 まちづくりセンター	天間 1106−1	− m	− m	− m	− m
厚原 まちづくりセンター	厚原 2289−14	− m	− m	− m	− m

※ 岩松まちづくりセンター、富士北まちづくりセンターは、河川洪水による危険性が高い施設のため、開設されません。
（岩松まちづくりセンター：富士川の想定浸水深が3．0m（2階床面）以上、富士北まちづくりセンター：蓼川の常屋側境危険ゾーン内）

緊急避難場所

富士川洪水についての警戒レベル４以上の避難情報が発令された後に、浸水が想定される9地区内の学校施設が「緊急避難場所」として開設されます。
※富士川の洪水浸水想定地区：富士駅北、富士北、富士駅南、田子浦、富士南、岩松、岩松北、富士川、松野

施設名	住所	富士川	潤井川	小潤井川	沼川
富士第一小学校	本市場 280−2	1.8 m	− m	− m	− m
富士見中学校・高等学校	平垣町 1−1	2.0 m	− m	− m	− m
富士中学校	中島 320	2.1 m	− m	− m	− m
富士中央小学校	米之宮町 295	2.1 m	1.0 m	− m	− m
富士高等学校	松本 17	2.1 m	0.8 m	− m	− m
富士第二小学校	横割 1−6−1	0.6 m	− m	− m	− m
富士南小学校	宮下 551	1.0 m	− m	− m	− m
富士南中学校	森島 550	1.1 m	− m	− m	− m
田子浦小学校	中丸 98	2.4 m	1.5 m	− m	− m
田子浦中学校	中丸 411	2.5 m	0.3 m	− m	− m
岩松小学校	松岡 850	4.0 m	− m	− m	− m
岩松北小学校	岩本 123−1	2.4 m	0.4 m	− m	− m
富士川第一小学校	岩淵 107	− m	− m	− m	− m
富士川第二小学校	北松野 1959	− m	− m	− m	− m
富士川第三小学校	北松野 1963−6	− m	− m	− m	− m

※岩松中学校、富士川第一中学校、富士川体育館は、河川洪水による危険性が高い施設（家屋倒壊危険ゾーン内）のため、富士川の洪水警戒時には開設されません。

知っておきたい！情報の意味

大雨時に富士市や気象庁から発信される避難や気象に関する情報の意味をあらかじめ理解しておきましょう。

●「警戒レベル」ととるべき行動

避難や気象に関する情報は、５段階の「警戒レベル」を用いて市民の皆さんへ伝達します。

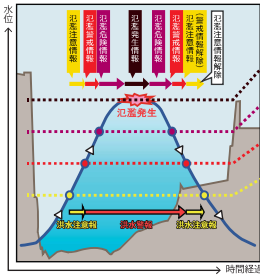
警戒レベル	とるべき行動等	富士市が発令する避難情報	＜※防災気象情報＞
警戒レベル５	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報	氾濫発生情報 大雨特別警報
警戒レベル４ 全員避難	速やかに避難場所へ避難しましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近隣や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難指示（緊急）避難勧告	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等
警戒レベル３ 高齢者等は避難	避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等）と支援者は避難しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始	氾濫警戒情報 洪水警報 等
警戒レベル２	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	氾濫注意情報 洪水注意報 等	
警戒レベル１	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報	

※防災気象情報は、自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

●富士川の水位情報と避難情報

富士川は流域面積が大きく、洪水が発生した場合に大きな被害が生じるおそれがあるため、国土交通省と気象庁が共同で、洪水予報を発表することになっています。この情報を「指定河川洪水予報」といいます。

富士市では、この指定河川洪水予報を受けて、市民の皆さんに避難情報を発令します。



水位情報と避難情報

※「山梨県雨都観測所」の観測水位を基準としています。

氾濫発生水位（氾濫発生情報）：河川氾濫
⇒災害発生情報（警戒レベル５）

氾濫危険水位（氾濫危険情報）：4．9m
⇒避難勧告又は避難指示（警戒レベル４）

避難判断水位（氾濫警戒情報）：4．2m
⇒避難準備・高齢者等避難開始情報（警戒レベル３）

氾濫注意水位（氾濫注意情報）：3．8m
⇒（洪水注意報 ※警戒レベル２相当）

※ 富士川は、山梨県から流れ込んでくる河川であるため、富士市で雨が降っていなくても、上流で大量の雨が降ると水位が上昇します。
避難情報が発令されたら、たとえ雨が降っていなくても避難行動をとってください。

洪水時の避難行動計画（マイタイムライン）

ステップ１　自宅の大雨時の危険性と避難の方向を確認しましょう！

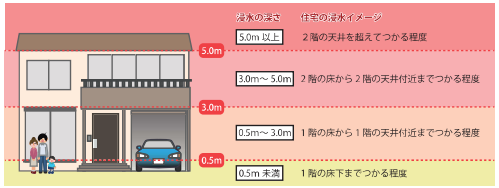
１．地図（裏面）で自宅を探し、印をつける

まずは、自宅が地図上のどの位置にあるのかを確認しましょう。

自宅を探すコツ　自宅近くの目印となる施設（学校・まちづくりセンター）を見つけ、そこから自宅を探してみましょう。

２．自宅の大雨時の危険性を書き込み、避難の方向を決める

地図（裏面）から、自宅の大雨時の危険性を確認し、以下の表の該当箇所を実線で囲み、囲んだ各項目間を実線で結びましょう。



家屋倒壊危険ゾーン	土砂災害（特別）警戒区域	想定浸水深	自宅の階数
自宅が家屋倒壊危険ゾーンの中にある	自宅が土砂災害（特別）警戒区域の中にある	3.0m以上（10m以上 / 5m～10m / 3m～5m）	平屋建てまたは集合住宅の1階
自宅が家屋倒壊危険ゾーンの外にある	自宅が土砂災害（特別）警戒区域の外にある	0.5m～3.0m（0.5m～3m）	2階以上
		0.5m未満（0.5m未満）	
		無	

大雨時にあなたがとるべき避難の方向は？

「立ち退き避難」　ステップ２へ
自宅に留まることは危険です。
自宅から他の安全な場所へ移動しましょう。

「垂直避難」　ステップ２へ
自宅の想定浸水深以上の高い場所へ移動しましょう。

「自宅待機」
外出は控えましょう。また、浸水想定区域内にいる知人や親戚への声かけや、避難者受け入れの心がけを。

ステップ２　避難する場所と方法を決めましょう！

ステップ１で避難の方向を「立ち退き避難」または「垂直避難」を選択した人は、以下の表の該当箇所を囲み、避難する場所と方法を決めておきましょう。

避難の方向	避難する場所（どこへ）	避難する方法（どのように）
立ち退き避難	（　　）さんの家	自分で（徒歩・自家用車）
	※避難場所（　　）	タクシー　・　バス
	その他（　　）	支援者（　　）さんに手伝ってもらう
垂直避難	自宅の浸水深以上の階	自分で
		支援者（　　）さんに手伝ってもらう

※市が開設する避難場所は２ページの「避難場所　一覧」を参照してください。

●避難の方向や避難する場所を決めるために考慮すべきこと

浸水継続時間を、１ページの図で確認しましょう。浸水してから水が引くまでに２日間（４８時間）以上かかる場所もあります。

浸水してしまうと、電気、ガス、水道、トイレなどが使えない状況で、長時間生活することになりますので、２階以上に水・食料・携帯トイレなどを必要数備蓄しておくことが必要です。

取り残された場合のヘリコプターやゴムボートによる救出は、最終手段であり、危険を伴うことを忘れてはいけません。

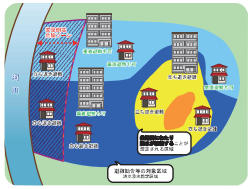


図　河川が氾濫した場合の避難の方向イメージ

ステップ３　わが家のマイタイムラインを完成させよう!!

1. 大雨時に わたしがとる行動 1～3 について、行動を開始するきっかけにする情報を 気象・避難情報 ア～オ の中から１つ選んで □ 欄へ記入しましょう。
2. ステップ２ で決めた内容を 3 の 避難する場所 、 避難する方法 に記入しましょう。
3. 完成したマイタイムラインを写真に撮り、撮った画像を家族全員で共有しておきましょう。

【富士川】わが家のマイタイムライン　年　月 作成

わたしがとる行動　／　気象・避難情報　／　台風発生

1 気象情報の収集や家族などに連絡をする
□テレビのdボタンやインターネットで路南のピークなどを時間帯を確認する
□防災ラジオの電源を確認する
□家族に連絡する
□避難先（知人・親戚の家）に連絡する（連絡先：　　）
□支援者に連絡する（連絡先：　　）
・
・
・
他にも必要な行動があれば書き足しましょう。
アーオを記入

2 避難の準備をする
□避難時に持ち出す物（食料、水、携帯トイレ、薬など）を準備する
□避難しやすい服装、靴を準備する
・
・
・
アーオを記入

3 避難を開始する
□すでに周辺の道路が冠水している場合、その場所を避けて移動する
・
・
・
避難する場所
避難する方法
アーオを記入

4 避難が完了している
□万一逃げ遅れた場合、命を守るための最善の行動をとる
□自宅に戻らない
・
・
・

ア 洪水注意報　24 時間前
イ 洪水警報　12 時間前
ウ 南部観測所で富士川の氾濫注意水位 3.8m を観測　8 時間前
富士川（南部観測所）の水位の確認はこちらから
エ 南部観測所で富士川の避難判断水位 4.2m を観測
警戒レベル３（けいかいれべるさん）
避難準備・高齢者等（ひなんじゅんび・こうれいしゃとう）
避難開始を発令（はっれい）　5 時間前
オ 南部観測所で富士川の氾濫危険水位 4.9m を観測
警戒レベル４（けいかいれべるよん）
避難勧告（ひなんかんこく）を発令（はっれい）　4 時間前
ここまでに避難を完了!!
警戒レベル５（けいかいれべるご）
災害発生情報（さいがいはっせいじょうほう）を発令（はっれい）　氾濫発生